

第1回次期総合振興計画（区の将来像）に係る南区検討懇話会 議事要旨

開催日時：2018年12月3日（月）13：30～15：30

開催会場：さいたま市南区役所 6階大会議室

出席者（懇話会委員）：

さいたま市南区自治会連合会 会長	石川 憲次 氏（座長）
さいたま浦和地区更生保護女性会 理事	内田 淑子 氏
さいたま市南区社会福祉協議会連合会 会長	岡田 方之 氏
さいたま市南区保健愛育会 会長	片柳 香子 氏
さいたま市 PTA 協議会南区連合会 理事	加納 紀子 氏
さいたま市浦和商店会連合会 副会長	島田 定男 氏
さいたま市南区老人クラブ連合会 会長	関根 隆俊 氏
さいたま市南区民生委員児童委員協議会 副会長	寺尾 繁治 氏
さいたま市南区防犯パトロール協議会 副会長	野口 松一 氏（職務代理）
さいたま市南区明るい選挙推進協議会 委員	萩原 桂子 氏
さいたま市南区自主防災組織連絡協議会 会長	細淵 紀雄 氏
東日本旅客鉄道㈱南浦和駅 副駅長	水野 隆 氏
さいたま市食生活改善推進員協議会浦和支部 リーダー	米澤 倫江 氏

（事務局：さいたま市）：

南区役所：井上区長／松井副区長／細井区民生活部長／五島健康福祉部長／竹越総務課長
都市経営戦略部：西林参事／篠葉参与

欠席者（懇話会委員）：

青少年育成さいたま市民会議南区連絡会 副会長	秋本 清一 氏
さいたま市南区子ども会育成連合会 理事	網野 希美 氏
公益社団法人埼玉中央青年会議所 副理事長	長谷川 功一 氏
さいたま市交通安全保護者の会（母の会）南支部 支部長	村松 君江 氏

議題及び公開又は非公開：（議題）南区における「課題」と「将来への期待」について
南区の将来像・まちづくりのポイントについて

（公開又は非公開の別）公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題のとおり

問合せ先：南区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-844-7123

1 開会

2 挨拶

区長及び都市経営戦略部参事より、挨拶があった。

3 出席者紹介

委員及び事務局の紹介があった。

4 座長及び職務代理者の選出

委員の互選により、座長に石川委員を、座長の指定により職務代理者に野口委員を選出した。

5 意見交換

- (1) 南区における「課題」と「将来への期待」について
 - (2) 南区の将来像・まちづくりのポイントについて
- 各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

●南区における課題と将来への期待について

- ・ウォーキングする道に車が入らないようにすべきである。
- ・住民と行政が協働してまちづくりを行うことが重要であるが、現実には進んでおらず行政が主導的にやるべきだと思う。
- ・以前に比べ公民館が利用できなくなった。住民が家に閉じこもらず外に気軽に出ているような公民館活動を広めていき、公民館を借りやすい状況を作っていただきたい。
- ・南区は若い世代が増えているが、学校だけのあいさつ運動だけでなく、大人を巻き込んだ活動が明るい社会を築くためには必要ではないかと思う。
- ・自治会（自主防災会）の防災倉庫が、世帯が多い関係で備品が一杯になってきている。したがって安全安心なまちづくりに向け防災倉庫を増やすようお願いしたい。
- ・通学路について危険・不安な箇所がまだまだある。また勉強やコミュニケーションをとる場所や、子どもの居場所がなく、公民館、図書館の環境を整えたい。
あいさつ運動について、子供が元気だと地域が活性化するので、大人も含めみんなで取り組みたい。防災について、何かあったときに中学生が地域の役に立つような指導もこれから必

要になると思う。

・利用している公民館は狭く競争率も高い。公民館の利用しやすさは、住みやすさの観点から必要条件だと思う。

・南区では若い世代の流入もあるが高齢者は年々増える一方である。

南区ではアートフェスタを開催している。開催には大変なことが多く、例えばボランティアの確保・担当部署による御苦労及びアクシデント・参加希望者の抽選漏れ等が見られるが、この様な昔からの住人と、新しい住人が交流する場を維持し、将来につなげていただきたい。

・高齢者が増加し高齢者が高齢者を介護する時代である。高齢者が増加すると医療関係も大きくなる必要があるが、南区に大きな病院がないことを心配している。大きな医療機関が来てのんびり南区の中で受診ができればと思う。

・まちづくりのポイントの中で、南区でやっているみなみっこクラブ、ふたごっちクラブ対象の赤ちゃん見守り活動を行政と地域の住民とで共に支えているという取組みを入れていただきたい。

・子供を小さな地域の中ではなく、区全体で支えることが必要だと思う。

・地域で飲食の提供やイベントの開催等を行っているが、今後高齢化する中でどこかに集いご飯を楽しく食べる場所が身近にあると良いのだが、活動をする場所の確保が難しく、空き家の活用を検討していただけないかと思う。

・駅利用者から東口に喫煙所を望む声が多くある。東口ではポイ捨ても多く、一方で喫煙所を作ると煙の問題も生じ、どちらが良いかについては議論をする必要があるが、この様な意見が多かったのでお伝えする。

・今後児童センターの様な施設を作る場合、子供と高齢者が集える場所を作ってほしい。公民館について、予約が電子化し遠方の方も予約できるようになり、また複数の予約をするので、予約がとりにくい状況にあり、予約の方法を改善してほしい。また地域に根付く公民館に向け、職員とコミュニケーションをもっととりたいと思う。

●南区の将来像・まちづくりのポイントについて

・交通事故ゼロ、詐欺対策、子供の虐待対策、といったことを入れられれば将来像に盛り込んでほしい。また高齢者に事故が多い、ということだが交通事故の時間帯は夜中の3時頃で

高齢者という訳ではない。従って高齢者とは言わないで、全体的に交通事故が無いということも取り入れることができればと思う。

- ・災害が発生した時には行政が何とかしてくれると考えている住民が多い。

災害時には行政の支援だけでなく、住民同士の協働でも災害を乗り越えるということを行政は発信すべきだと思う。また各家庭で1週間分の備蓄を持つように強調していただきたい。

- ・まちづくりの実施方法について、行政内や地域の団体間で横の連携が重要になる。

地域に密着しているのは自治会であり、連携のリーダーシップをとるのは自治会ではないかと考え、ポイントになると考えている。

- ・社会福祉協議会と自治会を兼務する方が多く活動の難しさにつながっている。

- ・地域活動を行う上で協力できることは行っているが、行政がリーダーシップを発揮して欲しいと思う。

- ・これからの将来像として、新しく住む人も、これまで住んでいた人も、交流して地域で楽しめるようにしたい。

- ・公民館について、民間企業職員が公民館職員となっているようで、公民館の在り方がわかっておらずコミュニケーションがとりにくくなっている。

- ・公民館の職員形態は地域により異なるのではないかと。

- ・公民館の利用者は、地域の人が利用できるよう選別するべきと思う。

- ・民生委員が赤ちゃんを訪問しているが、幼稚園や小学校入学するまでの息の長い活動にすべきではないかと思う。

- ・我々は自身の子育て経験を伝えるなどして子育てを支え、内容を行政に報告しているが、活動にも限度がある。

- ・駅について、会社の人員不足もあり、将来的には切符や窓口なども無くなる方向である。また南浦和駅にはホームドアの設置が検討されている。

- ・駅に高齢者が一時的に座れるような場所があればよいと思う。

- ・電車がすぐ来る他、待合室を作るほどの需要が無いのではと考えている。
- ・武蔵浦和駅の改札を出て降りる階段の暗さが危険である。
- ・まず当社（JR）の階段であるのか確認を行いたい。
- ・今後機械化する傾向が強まる一方、高齢化は進むので機械化に対応するのが難しくなってくると懸念している。提案だが将来的にコミュニケーションの場として、傾聴ボランティアなどが必要になるのではと思う。役所などでも広く窓口を設置してもらって、特に公的なボランティア等による高齢者救済の一環としてコミュニケーションの場を作ってもらえればと思う。
- ・南区は一人当たりの公園面積が少ないので、増やすことを盛り込むべきでは。また健康増進に向けた運動についても、まちづくりの中で具体的にも記載すべきではないか。
- ・南区には、南浦和駅と武蔵浦和駅の2つの乗換駅があります。活動として精神的に距離感を無くすような、取り組みがあってもよいのではないか。
また都市化の進展はいい面もありますが、反面、自治会活動に影響を及ぼす非会員の増加があり、課題として取り上げてもらえればと思います。
- ・人口が増えている反面、自治会に入らない人が多く、行政の支援をお願いしたい。
- ・選挙では投票するように皆さんからもお願いしていただきたい。

6 閉会